

リモートマネジメントの導入で、 専任担当者なしに社内の400台を 超えるPCの詳細管理が可能に

造船の街、長崎県佐世保市で運送業をコア事業とし、顧客のニーズに応じてサービスを手掛け事業拡大を果たしてきた吉田海運。さまざまな分野のグループ企業があり、グループの事業を兼任している社員も少なくない。

吉田海運の経営企画部では、グループ内のPCの管理を実施してきたものの、2019年、Windows 7のサポート終了時期が迫り、漏れなく現行OSへ移行をする必要に迫られた。

そこで、なにかPCを管理するソリューションがないか探していたところにTeamViewer リモートマネジメントソリューションに出会った。

それまで、吉田海運でのTeamViewerの活用は、特定機器の操作用PCに、機器メーカーやベンダーのサポートを受けるためにTeamViewerを導入していたことがあり、その便利さから一部でTeamViewerのリモート操作を導入している程度だった。

そこで、経営企画部の山口氏はさまざまなツールを模索するなか、TeamViewer リモートマネジメントソリューションの導入を決定、OSのバージョン管理を含めたPCの一元管理をすすめた。



目的

Windows 7サポート終了の際、社内の個々のPCについて、Windowsのバージョンアップの有無などの把握が難しかった。そこで、PCの状態を一元管理する必要性に迫られた。

効果

PCのOSだけでなくアプリなど詳細を把握、資産の台帳までも兼ねることが可能になった。同時にTeamViewerの本格展開で、社内PCのリモートサポートや、エンドポイントプロテクションの導入などによるセキュリティ強化も実施した。

管理するほうもPCを使うほうも「楽」になりつつ、 仕事の質も同時に高めることが条件



吉田海運株式会社
 経営企画室 経営企画部 部長 兼 総務部
 部長 山口剛史氏

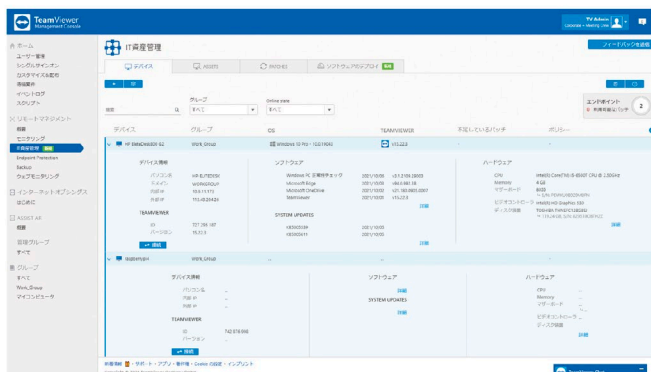
山口氏は、他業種でシステム構築や人財研修担当などを経験をしたのち吉田海運に移った。入社当初は営業本部に所属していたが、ITのインフラ構築を担当とする経営企画部や総務部の仕事を兼任することになり、現在に至っている。

山口氏がシステムを導入するにあたっていつも考えていることは、今まで以上に大勢の社員や自分が「楽」になること。そして、少し仕事のクオリティを上げていくということ。

山口氏自身も複数の業務を兼務していることもあり、「楽」は外せない条件で、そのなかで選ばれたツールがTeamViewer リモートマネジメントソリューションということになる。

(裏面に続く)

120台の新規PCと既存250台に導入も TeamViewerのリモートが役立つ



管理コンソールでPCをまとめて管理できる

それまで、誰がどのPCを使っているのか、という点は管理できていたが、各々のPCのOSなど細かな点は把握しきれていなかった。社内にヒアリングをしていたところ、遠隔で設定などに活用しているTeamViewerの機能にリモートマネジメントがあることを知り、本格的な導入が決定した。しかし、それまでの管理が統一的なものでなかったこともあり、PC名の命名規則から刷新する必要に迫られた。

ちょうど当初の目的でもあったWindows7搭載機の駆逐を進めるため、PC入れ替えが決定。一気に120台を新たな導入することもあり、PCの新しい管理方法への移行も順調に進み、既存の250台のPCもリモートマネジメントに組み入れる際に再設定を行った。

導入の際にも遠隔操作を駆使、本部にいながらにして、離れた拠点にあるPCにも必要なソフトウェアの導入や設定を可能にしたのはTeamViewer採用のメリットだった。

TeamViewer リモートマネジメント ソリューションによる一元管理に成功、 自身の移動も最小に



キーボード付きのタブレットを持ち歩き、業務をこなす山口氏

TeamViewerによる一元管理体制に移行してから、会社の約400台のPCでは、OSのバージョンアップをはじめ、アプリの導入、さらにはPCの使用時間などが一元管理できるようになった。現在ではエンドポイントプロテクションを導入、セキュリティ面でも活用も強化している。

一元管理の成果としては、使用時間の管理も進み、グループの複数の事業所に自席がある人には各席にPCを置くのではなく、使用状況からノートPCを持ち歩くことを提案するなど、無駄なくIT資産を活用するための土台にもなっている。そして、山口氏自身の仕事も変化している。IT担当でもあることから、社内システムのサポートも行っているが、TeamViewerの遠隔操作により、直接、拠点に向く機会が減り、反対にリモート機能をフル活用して本部から離れた拠点にいてもシステムの操作を行えるようになっている。使用端末もキーボード付きのタブレットでも操作できるため、機動力の確保にも役立っているとのことだ。

吉田海運

1919年に造船の街、佐世保で創業。コア事業を運送業として、船舶の船殻工事、艦装工事から内装工事を手掛け、さらに農業まで展開、九州を中心に物流拠点、国内各地や海外に営業拠点を擁している。「安心・安全第一」を掲げ、人材を活用した一歩先を行く質の高い物流サービスへの挑戦を続けている。

個人はずっと無料、商用なら14日間の無料トライアルがあります。

<https://www.teamviewer.com/ja/download/>



TeamViewer
 (チームビューワー)
 について

チームビューワーはConnected Operational Technologyのグローバルリーダーです。PC、モバイル端末、工場の機械やロボットなどあらゆる人やもの、そして場所や時間を問わず世界のユーザーの接続を可能にしています。「TeamViewer」は個人向けには無料で、現在の有料登録ユーザーは50万人以上。法人は中小企業から大企業まで、あらゆる業種の企業のデジタル化の推進を支援しています。デバイスの分散化、自動化、ニューノーマルといった環境の変化に対応し、チームビューワーではAR、IoT、AIの分野でのデジタル・トランスフォーメーションやイノベーションを推進しています。2005年に会社設立以来、「TeamViewer」をダウンロードしているデバイスは現在 25億台となっています。本社はドイツのゲッピンゲン、従業員は全世界で約1,200名。TeamViewer AG (TMV) はフランクフルト証券取引所に上場、MADAX株式指数構成銘柄となっています。TeamViewer ジャパン株式会社はTeamViewerの日本法人として2018年に設立。

TeamViewer Germany GmbH
 Bahnhofplatz 2, 73033 Göppingen Germany
 Phone: +49 7161 305897700

TeamViewer ジャパン株式会社
 〒100-6510 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング 10F
 Tel: 03-4563-9650 E-mail: japansales@teamviewer.com
<https://www.teamviewer.com/ja/>

